

「東北の未来」国に提言

岩手の高校生

岩手県の高中生2人が16日、内閣府を訪れ、「東北の未来の姿」をテーマにした提言集を古川国家戦略相に写真右に手渡した。

岩手県立高田高3年の菊



地將大君(18)同中と、同県立盛岡一高3年の佐藤滉君(18)同左。

提言集は10月、岩手、宮城、福島3県の高中生70人を集めて都内で開いた「東北未来リーダーズサミット」(主催・教育支援グループ)でまとめられた。地域全体で取り組む「共同農業」や、災害時の案内板などを工夫した「逃げやすい街づくり」などを提言している。

岩手県陸前高田市で被災し、両親を亡くした菊地君は「震災後、自ら立ち上がらないといけないと使命感を抱いた。将来は、陸前高田市長になりたい」と述べた。古川国家戦略相も「震災を経験した人が地域を引っ張るリーダーになってもらいたい」と応じた。